

令和7年9月24日 生涯学習推進センター 市民交流大学係
送付文書 計2枚

報道機関 各位

講演会 戦後80年 ノーベル平和賞受賞・記念講演

～伝えつづける被爆者の願い～ にご来場を

2024年、日本では団体として初めて、日本原爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。それを記念して、講演会を開催します。

主な内容は、受賞の感動とその背景、講師の被爆体験、皆さんへのお願いなど。電子申請でお申込みください。

日時 令和7年 **11月1日(土)**

午後2時～4時（開場1時）
同会場で**被爆関連の展示あり**

場所 立川市**錦学習館** 講堂

定員 100名（申込順）

講師 東友会代表理事
家島 昌志（いえしま まさし）さん

申込 9月25日（木）8時30分
から、電子申請（次頁*）で

問合せ先 柴崎学習館
（042-524-2773）



戦後80年
ノーベル平和賞受賞・記念講演
～伝えつづける被爆者の願い～

2025.11.1(土)
午後2時から4時

入場
無料

2024年、日本では団体として初めて、日本原爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。それを記念して、講演会を開催します。

会場 錦学習館 講堂

定員 100名（申込順）

申込 右のコードから電子申請で
（9月25日（木）午前8時30分受付開始）

問合せ 錦学習館 ☎042-527-6743

語り手 家島 昌志さん（東友会（東京被団協）代表理事）

【主なお話し】

- ▶ 受賞の感動とその経緯と意義
- ▶ 私の被爆経緯
- ▶ 原爆投下後の被爆者の運動
- ▶ 若い皆さんへのお願いと期待

【家島さんコメント】

私は長崎で生まれ、3歳の時に母から18kmの距離で原爆投下の被害にあいました。今回の受賞は非常にうれしいことです。戦争たちの塀が築かれました。久入からを食めて、被爆者命が張られたのだと思います。この受賞によって被爆者の運動が再見せたいと思っています。

【主催】 たちかわ市民交流大学・市民推進委員会

【問い合わせ】

立川市教育部生涯学習推進センター長 担当：鈴木 峰宏

TEL 042-523-2111（内線）4810

【同会場で被爆関連の展示を開催(開場 午後1時から)】

◇広島基町高校の生徒と被爆者との共同制作による『原爆の絵』

(広島平和記念資料館所蔵)

◇『被ばく制服』『被爆瓦』

(八王子 平和・原爆資料館所蔵)

* 電子申請にアクセスする方法は、2通りあります。

① 立川市ホームページから申し込む。

https://www.city.tachikawa.lg.jp/event/e-kouza/novel_heiwashou_kouen.html

② 以下の二次元コードから申し込む。

